

謹 啓

盛夏の候、毎日うだるような暑さの続くこの頃、中学生最後の夏休みをお迎えのことと思ひます。いよいよ卒業後の進路について自分で考え、また家族の方や先生と相談されていることと推察しております。そこで、高校進学を目指している皆さんに、地元にある安田高等学校に入学されることを、お願致したくお手紙をさしあげることになりました。

いま、安田高等学校では、生徒も先生方も一丸となって新しいイメージの学校づくりに取り組んでいます。最近では、生徒一人ひとりが小規模校の利点を100%生かしながら、主人公として輝いた学校生活を送っています。校内に活気がみなぎるようになり、自分の特性を鍛え伸ばし、希望した進路の実現ができるようグループによる「選択学習」が用意され、細かい指導や援助の手だてが取られています。普通科でありながら「選択科目商業系」を選び更に放課後の補習学習に努め、商業科でさえ難しいと言われる簿記や情報関係の検定に合格する生徒もおります。その結果こうした地味な勉強が爽り、今春の安田高校卒業生は、進学就職とも100%希望が実現しました。この大不況下、多くの進路未定者を卒業させざるを得なかった近郷や新発田市内等、下越地区の高校から「安田高校がなぜ100%なの」と、うらやましがられています。近年にない大ヒットです。現在、創立24年目を迎えた安田高校の卒業生は、各界特に町内の中堅として活躍しております。

町としては、皆さんの一人でも多くの方が、通学にも勉学にも時間的経済的に有利な地元の安田高校を有効に活用して、自己実現を目指してもらいたいと期待し、全面的に支援を行っているところであります。

地域の将来を背負う担い手が地元の高校から育つことこそ、最大の町づくりだと考えているからであります。安田町振興の要は、あなたが安田高校に進学し地域の担い手としてたくましく育ってくれるかどうかにかかっているといえましょう。

あなたが、「安田高等学校」に入学し、さらに新しい学校づくりの一員となれることを期待し、心からお勧め致します。

追 伸

保護者の皆様へ。

皆様へ存知のように、安田高等学校はこの2、3年で、別の学校になったと思われるほどイメージが一新されました。生徒諸君もよく頑張り、各方面で成果を上げています。町の行事やボランティアにも積極的に参加してくれています。また、卒業後の進路に対しても、近郷は勿論、新発田や五泉市内の高校と比べても遜色のない成果を上げられるようになりました。就職希望者100%実現も近隣の高校にない成果です。

経済的にも時間的にも有利な地元高校に、お子様が進学され、同じお金をかけるなら、卒業後の大学や専門学校教育に活用することこそ賢明な選択だと考えるのですがいかがでしょうか。

敬 具

平成十二年 八月 吉日

安田中学校三年生の皆さんへ、保護者各位

新潟県立安田高等学校振興会 会長 本田富雄

県立安田高等学校の振興に関する意見書

昨年来、新潟県教育委員会が21世紀にふさわしい教育の姿を求めた改革・整備に精力的に取り組まれていることに敬意を表します。

さて本町では、新潟県東部工業団地「阿賀の郷」の開発を核とした地域の総合発展策に鋭意取り組んでおります。同工業団地の造成工事開始段階に入り、今後は地元の有為なる人材育成の場として、県立安田高等学校の必要性は飛躍的に増すものと確信されます。また企業等の進出に伴い将来的に人口増が顕著視される地域でもあります。生徒の多くが住む北蒲原郡南部郷は人口がおおむね5万人の規模であり、将来的には町村合併も想定され、現存する2つの高等学校の存続は十分に可能な条件下にあります。

さらに、今後は地域の教育力を回復し、地域と連携した県立安田高等学校は、昨年より「地域に開かれ、地域に信頼される学校づくり」をめざした学校改革に取り組んでいます。町等の関係機関や町民も全面的に協力し支援しています。その結果、同校では本年度の進学率・就職率100%を達成し、部活動においてもその成果を上げるなど、大幅に前進しています。生徒数にも歯止めがかけられ、増加に転じています。この取り組みについて、本議会は高く評価するものです。

よって本議会は、歴かで均衡ある県土の発展を期し、本町や近隣市町村の期待に応えられる県立安田高等学校の存在を認識され、より一層の充実に資するよう強く要望するものです。

以上地方自治法第99条第2項の規定により意見書を提出します。

平成12年3月 日

新潟県知事	様
新潟県議会議長	様
新潟県議会総務文教常任委員長	様
新潟県教育委員会委員長	様
新潟県教育委員会教育長	様

北蒲原郡安田町議会議長 帆 刈 剛

県立安田高等学校の振興に関する決議

県立安田高等学校は、地元へ高等教育機関の設置を願う多くの町民の努力によって昭和52年県立水原高等学校から分離、独立したものである。その後同校は多くの優秀な人材を輩出し、地域の総合発展に大きく寄与した。

また学び舎では生涯の友情が育まれ、地元に住み続ける若者が増えており、過疎化の進行にも歯止めをかけている。

本町では、新潟県東部工業団地「阿賀の郷」の開発を核とした地域の総合発展策に鋭意取り組んでいる。同工業団地の造成工事開始段階に入り、今後は地元の有為なる人材育成の場として、県立安田高等学校の必要性は飛躍的に増すものと確信されている。また企業等の進出に伴い将来的に人口増が顕著視される地域でもある。生徒の多くが住む北蒲原郡南部郷は人口がおおむね5万人の規模であり、将来的には町村合併も想定され、現存する2つの高等学校の存続は十分に可能な条件下にある。

さらに、今後は地域の教育力を回復し、地域と連携した県立安田高等学校は、昨年より「地域に開かれ、地域に信頼される学校づくり」をめざした学校改革に取り組んでおり、町等の関係機関や町民も全面的に協力し支援している。その結果、同校では本年度の進学率・就職率100%を達成し、部活動においてもその成果を上げるなど大幅に前進している。これらの努力によって生徒の減少から増加に転じており、この取り組みについて、本議会は高く評価するものである。

よって本議会は、県立安田高等学校を振興すべく、ここに決議するものである。

平成12年3月 日

安田町議会